

平成27年度

知床国立公園カムイワッカ地区自動車利用適正化対策連絡協議会 議事録

【日時】平成27年5月22日（金）13:30～14:50

【場所】斜里町ゆめホール 会議室1

議題：

- (1) 平成26年度自動車利用適正化対策実施結果について
- (2) 平成26年度収支決算報告及び会計監査報告について
- (3) 平成27年度実施計画及び収支予算案について
- (4) 道道知床公園線カムイワッカ地区の整備について
- (5) その他

資料：

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 資料1 | 平成26年度自動車利用適正化対策の実施結果の報告について |
| 資料2-1 | 平成26年度収支決算書 |
| 資料2-2 | 平成26年度会計監査報告書 |
| 資料3-1 | 平成27年度以降のマイカー規制期間 |
| 資料3-2 | 平成27年度自動車利用適正化対策の対応方針及び実施計画について |
| 資料3-3 | 平成27年度収支予算（案） |
| 資料4 | 道道知床公園線 今後の事業計画について（建設管理部） |
| 参考資料1 | 知床国立公園カムイワッカ地区自動車利用適正化対策連絡協議会規約 |
| 参考資料2 | カムイワッカ部会の設置について |
| 参考資料3 | 平成25年度シャトルバス利用者数・カムイワッカ地区利用者数データ |
| 参考資料4 | カムイワッカへの行き方（シャトルバス周知）チラシ（案） |

【議事概要】

進行：環境省公園課課長 坂口課長

環境省（永瀬）：協議会を開催します。協議会会長代理である釧路環境事務所の国立公園課課長の坂口から挨拶。

環境省（坂口）：本日はお集まりいただきありがとうございます。昨年度は、関係者同意の上、仮橋撤去が行われ滝500m手前にバス旋回場が整備されたと聞いております。本年

度のマイカー規制期間についてもカムイワッカ部会で協議を行ったところですが、今回の協議会では、その際決定したマイカー規制機関の運用計画について、ご説明させていただき、予算案等を含めてご承認いただければと思う。それでは、本年度も引き続きよろしく申し上げます。

(1) 平成26年度自動車利用適正化対策実施結果について

環境省（永瀬）：

資料1 平成26年度自動車利用適正化対策実施結果について 説明

シャトルバスは12,382人（前年比94%）が利用した。

仮橋の撤去と旋回場の整備が行われた。

(2) 平成26年度収支決算報告及び会計監査報告について

斜里町環境課（高橋）：

資料2-1 平成26年度収支決算書 説明

ほぼ予算通りである。81,263円を次年度に繰り越し。

網走建設管理部（渡辺）：

資料2-2 平成26年度会計監査報告書 説明

(3) 平成27年度実施計画及び収支予算案について

環境省（永瀬）：

資料3-1 平成27年度以降のマイカー規制期間 説明

予定されている道路施設の変更・改修等と調整し、必要に応じて規制期間・内容の変更を検討する。今後の利用状況データを収集・分析し、次期規制期間・内容の設定を行う。

資料3-2 平成27年度自動車利用適正化対策の対応方針及び実施計画について説明

現地管理連絡調整等業務で行うカムイワッカ駐車スペースの線引きについて、今年度は仮橋が無くなり止め方が変わることから関係者で集まって行いたい。

巡視員は利用者指導、残留者の発生防止等のため、原則的に1名を配置する予定。旋回場が新たにできたことから、今年度は状況の変化を見る目的で巡視員0人体制は行わない。

資料3-3 平成27年度収支予算（案）説明

斜里町環境課（高橋）：補足説明 シャトルバス期間中、バスの旋回が安全に行えるよう短い日数になるがカムイワッカに警備員を配置し旋回の練習を行う予算を計上している。

環境省（坂口）：何か質問あるか？

網走建設管理部（藤田）：チラシの北海道の地図に北方四島を入れた方が良さそう。

環境省（永瀬）：了解しました。

知床財団（寺山）：バスの運行間隔に変更は無いのか。今年からは500m歩くことになるが。

環境省（永瀬）：斜里バスとの協議で、今年は様子を見ることにして来年以降の変更を考えている。

知床財団（寺山）：利用者の乗り遅れなど心配をしている。巡視員とバスの運転手が無線等で連絡を取れるか。

斜里バス（下山）：それは可能だろう。

知床財団（寺山）：情報周知の看板等の設置は無いのか。

環境省（永瀬）：資料4で建設管理部の方で検討してもらっている。

網走建設管理部（紺屋）：総合案内のような看板を設置する予定。今年の運用には間に合わないと思う。8月の発注を考えていたができるだけ対応したい。看板の中身に関しては相談したい。

知床財団（寺山）：やわらかい内容でつくってほしい。自然センター等でも同じ図案のものを周知に使いたい。

網走建設管理部（紺屋）：看板の案を知床財団に出して貰えればありがたい。

斜里町環境課（高橋）：500m 歩くことから、目安の距離や時間がわかるように、看板の配置も含めて検討していただきたい。

斜里バス（下山）：トイレの他に着替えの場所は今年も無いのか。

斜里町環境課（高橋）：今年はトイレのみ。トイレの場所は滝の近くに3基と従来通り。

斜里バス（下山）：更衣室に関する苦情は聞いていないのでそれで問題ないと思う。

（4）道道知床公園線カムイワッカ地区の整備について

網走建設管理部（紺屋）：

資料4 道道知床公園線 今後の事業計画について（建設管理部） 説明

27年度は仮橋の材の搬出とコルゲートの搬出を行う。コルゲートの補修作業での交通への影響はほとんど無い。

（5）その他

網走建設管理部（住谷）：硫黄山登山口への通行の特例使用許可の期間を6月20日から9月23日までにしたがよろしいか。

知床財団（寺山）：地元としてはシャトルバス期間の利用はしづらいため、せめてマイカー規制後の週末くらいまでは伸ばして貰えるとありがたい。希望としては、9月の最終週の週末までなどに決めていただけると地元としてもお客さんに周知する立場としても覚えやすくありがたい。

網走建設管理部（住谷）：この場が登山道の特例使用期間を決定する場だと認識していた。昨年も一昨年もこの協議会で決定してからパンフレットの印刷やHPの準備を行っていた。

知床財団（寺山）：エコ推進検討会の立ち上げで、カムイワッカ部会に整理される前までは

マイカー規制協議会でいろんなことを協議していた。そのとき山岳会からの強い要望から特例使用はできたはず。

斜里町環境課（岡田）：最終的に決定するのは、カムイワッカのことを総合的に協議するカムイワッカ部会の方がよいのではないか。カムイワッカ部会には山岳会もメンバーに入っている。

網走建設管理部（住谷）：3ヶ月という原則がある。山開きの前からシルバーウィークまでは特例使用期間を入れるという考え方で今まで来ている。カムイワッカ部会で経緯を整理したうえで今後のことを考えたい。

網走建設管理部（門間）：6月7月や9月下旬の山の状況はどうか。

知床財団（寺山）：6月や7月は残雪がある。9月に雪が降ることもあるが、9月下旬でも岩尾別登山口から登っている人は多い。シャトルバス期間中はバスの時間があるので、登山は時間的に難しく、登山者は多くない。知床連山で人が多いのは7月の海の日の日曜日。お花畑がきれいなので。その次は秋の紅葉の時期。

網走建設管理部（門間）：山開きはいつなのか。

知床斜里町観光協会(代田)：今年は7月5日

網走建設管理部（門間）：登山利用者の関係から行くと1週遅らせて、シャトルバス期間後にも少し日数があるようにした方が良いのか。でもこの場では決められないので、今年は6月20日から9月23日までに決定したい。

網走建設管理部（住谷）：道路管理者として道路は基本的に止めている。特例使用は道路法の枠から出ている。地元の山岳会や観光協会の要望で、特例で通ってもらっているもの。期間が後ろにずれるのはリスクが高くなる。9月以降は台風の危険が高まる。道路管理者としては危険な箇所であるので、できるだけ日数は短くしたいが概ね90日と以前決めたことなので、伸ばすことはできない。

網走建設管理部(糸島)：山開きから3ヶ月という考え方もあるのではないか。

知床斜里町観光協会(代田)：山の日が来年から8月11日に制定され、山への関心が高まる。来年に向けて検討して欲しい。

環境省（坂口）：今年に関しては、特例使用許可の期間を6月20日から9月23日までで良いか。

一同：承諾

環境省（坂口）：その他何かありますでしょうか。

知床財団（秋葉）：来年の運用に向けて、現場で対応している立場としては自然センターを過ぎた後マイカー規制の周知が無くなるので、文言や看板の枚数を増やす等対応できないか。

環境省（永瀬）：今後、環境省としてできる対応をして行きたい。

知床財団（秋葉）：モニタリングについて、愛甲先生が今年何をするか聞いているか。

環境省（永瀬）：まだ予定は聞いていないが、客観的な資料は環境省としても知りたい。

環境省（坂口）：その他何かありますでしょうか。

知床財団（寺山）：情報提供。今年子連れのクマが多い。昨年ドングリが良かったので、生き残っており、夏頃子ども達が生離れをして散らばることが予想される。カムイワッカでもクマの出没が懸念されている。

環境省（坂口）：その他何かありますでしょうか。なければ閉会いたします。ありがとうございました。

以上